

SDGsの取り組み



3 すべての人に健康と福祉
12 つくも責任 つなぐ責任

でんぷんかすを再利用

でんぷんの製造工程では「でんぷんかす」と呼ばれる廃棄物が発生します。弊社では、このでんぷんかすを地元畜産業者から出る牛ふんと合わせて堆肥の製造を行い、生産者様の土作りに貢献しています。



三和物産 株式会社

- 住所 鹿屋市札元2丁目 3696-1
- 電話 0994-44-1700
- 設立 昭和31年 ○代表者 和田 輝明
- 従業員数 35人
- 平均年齢 47歳
- 採用実績 3人(令和5年度)
- 福利厚生 各種保険(雇用、健康、厚生年金、労災)、退職金共済制度、各種休暇制度



平成31年から「サツマイモ基腐病」の影響で、弊社も生産者様の皆様も大打撃を受けました。そのため県内の企業3社で協力し防除対策を研究することで、サツマイモ基腐病を防除する種イモの蒸熱消毒技術を実証。合計100tを超える種芋を処理して試験を

基腐病対策として
蒸熱消毒技術の実証
ココに注目!!



三和物産 株式会社

まちのおしごと
やってみたい仕事が見ゴケる!
VOL.29

生産者とともに
地域に根差した支援

弊社は農家の皆様の協力のもと、大隅半島産のかんしょを原料とした「でんぷん」を製造する会社として、昭和31年に鹿屋市で創業しました。現在のかんしょでんぷん製造に加え、公共施設等の造園や樹木の販売を行う「造園工事・緑化事業部」、落花生を始めとした季節ごとの旬の農産物を生産している「アグリ事業部」、太陽光発電によるエネルギー事業を行う「三和サンサン発電所」の4部門を柱に企業運営を行っています。かんしょでんぷん製造は農家の皆様に生産いただいたかんしょを原料としているため、苗や堆肥の提供から仕入れまで、農家の皆様が安心して生産を行えるよう一貫したサポートを行っています。収穫されたかんしょはすぐに磨砕処理され、同時に乾燥を行うことで、高品質のでんぷんを製造。その後、全国の糖化メーカーに販売を行っています。でんぷんは、実は炭酸飲料

重ねることで、高い消毒効果が見込める温度や時間の条件を特定することができました。これにより農家の皆様に健全な種芋・苗を継続的に供給することで、安心安全な生産体制の構築に寄与しています。現在も基腐病対策プロジェクトチームに加わり、苗床の消毒技術の実証試験をしているため、今後も様々な対応策を検討・発信していきます。



▲令和5年11月21日、「令和5年度(第24回)民間部門農林水産研究開発功績者表彰」で業績が認められ、農林水産技術会議会長賞を受賞。

三和物産株式会社
和田 彰 常務取締役



やお菓子などの甘味原料として使用されており、知らず知らずのうちに弊社で製造されたかんしょでんぷんを口にしている方もいるかもしれません。また、自社でも大隅半島の豊かな風土に適した農産物の栽培を行っています。特に落花生は、生産に多大な労力を要することから作り手が減少。塩茹で落花生という特産品を、今後も残していくために自社で生産・販売を行っています。これからも地域コミュニティとの密接な関係の中で、様々な分野で地場産業の支援を行うとともに、食文化への貢献に努めていきます。



緑化事業部
山元 航弥 さん
(24歳/入社7年目)
垂水市出身。鹿屋農業高校で緑地工学を学び、三和物産株式会社に就職。趣味は観葉植物を育てることで、アガベやヤシの木の苗を自宅で育てているとのこと。

私は緑化事業部で、苗木から大木まで様々な樹木の管理・育成・販売を行っています。取り引き先は市内に限らず県外からも多くの注文をいただくので、全国に弊社の樹木を提供させていただいています。樹木は大きいものだと数年単位で管理する必要があり、良い状態で出荷できるよう細心の注意を払って作業を行うようになっています。職場は楽しい雰囲気なので、やりがいを持って仕事ができます。今後は、部長の定年前に県外のお客様などの引継ぎを行い、後継ぎとして日々の業務をこなしていけるよう頑張ります。

おすすめスポット

観葉植物を育てることが好きなので、よく「夢乃蔵」さんを利用させていただいています。取り扱っている品種が多く、様々な地域から仕入れを行っているため、珍しい植物が見つかります。訪れた際には心の中で「ビビッ」ときたものを購入しています。初心者の方でもどの植物を選んだらいいか、どのように育てたらいいかなどを店員さんに相談できるので、これから観葉植物を育ててみたいと思っている人には、とてもおすすめのお店です。



夢乃蔵

〒893-0067
鹿屋市大浦町 12977-1
☎ 0994-45-4825
店休日 火曜日
営業時間 10:00 ~ 17:00

